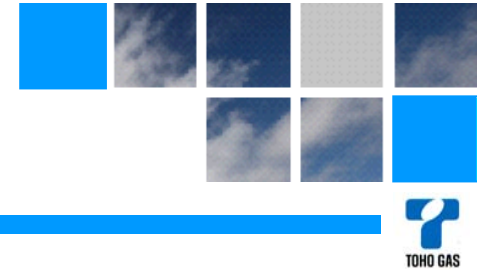


2015年度第1四半期連結決算 説明資料



2015年7月30日
東邦ガス株式会社

目 次



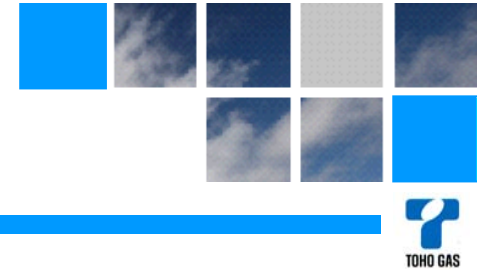
1. 2015年度第1四半期決算の概要…………… 3

2. 2015年度の見通し…………… 8

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

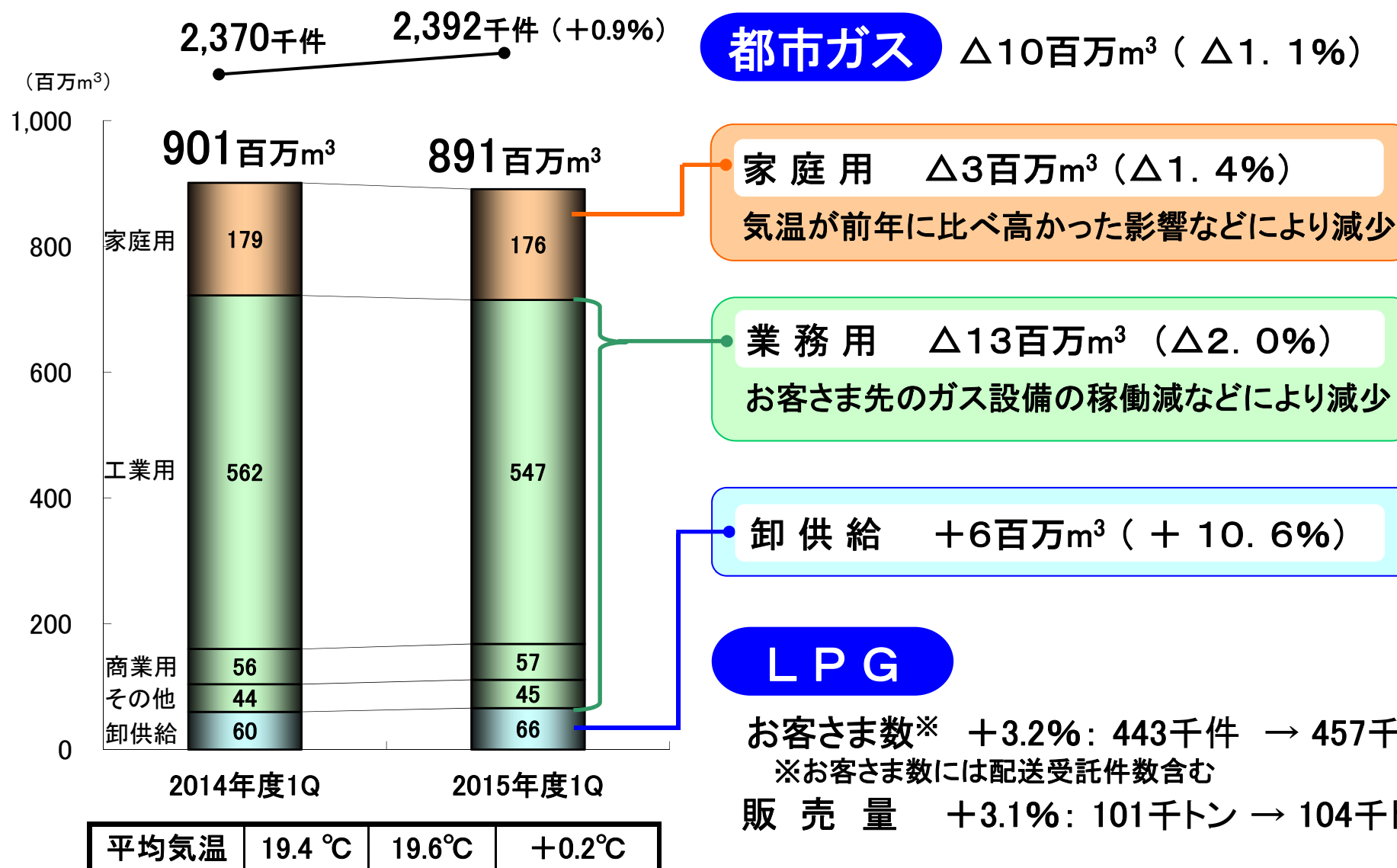
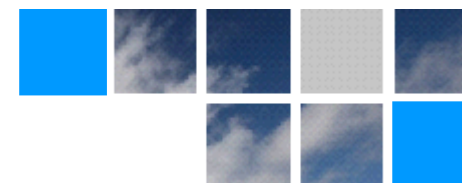
1. 2015年度第1四半期決算の概要

(1)まとめ

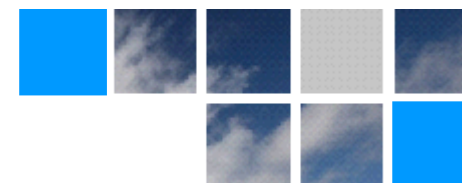


- ガス販売量は891百万m³、対前年1. 1%減
LPG販売量は104千トン、同3. 1%増
- 売上高は1, 312億円、対前年3. 5%減
経常利益は311億円、同174億円増

(2)お客さま数・販売量(第1四半期)



(3) 収支状況



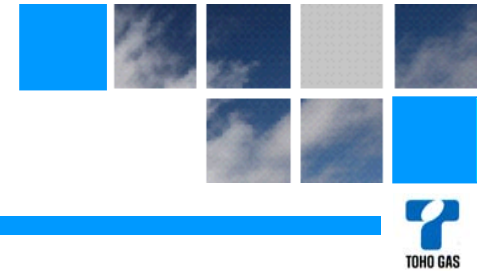
単位: 億円

	2015年度 (1Q)	2014年度 (1Q)	増減	増減率
ガス販売量 (億m ³)	8.9	9.0	△ 0.1	△ 1.1%
売上高	1,312	1,360	△ 47	△ 3.5%
売上原価	664	921	△ 256	△ 27.9%
供給販売費 一般管理費	344	307	36	11.9%
経常利益	311	136	174	127.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益※	223	95	128	134.1%

※ 2014年度は「四半期純利益」

(注) 原油価格(全日本CIF): 2015年度1Q 59.5ドル/バレル、2014年度1Q 109.5ドル/バレル(50.0ドル安)
為替レート(TTM) : 2015年度1Q 121.4円/ドル、 2014年度1Q 102.2円/ドル (19.2円安)

(4) 経常利益 増減要因 (第1四半期)



◆ 対前年

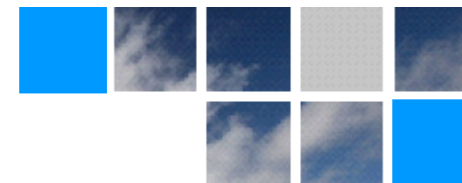
経常利益 (136億円 ⇒ 311億円) +174億円

■ ガス販売量の影響 △ 5億円

■ スライドタイムラグの影響 +205億円
(2014年度1Q +15億円 ⇒ 2015年度1Q +220億円)

■ 諸費用の増加等による影響 △ 26億円

(5) 財政状況

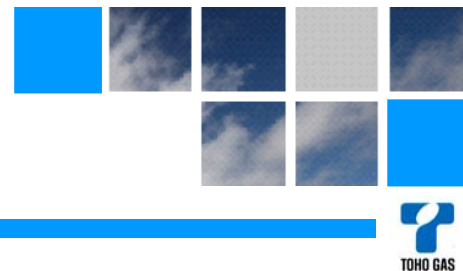


単位: 億円

	2015年度 (1Q末)	2014年度 (期末)	増減
総資産	5,599	5,432	166
(投資有価証券 評価益)	(608)	(541)	(67)
純資産	3,044	2,828	216
自己資本比率	54.4%	52.1%	2.3 ポイント
有利子負債	1,478	1,497	△18
	2015年度 (1Q)	2014年度 (1Q)	増減
設備投資額	80	79	0
減価償却費	81	83	△ 2

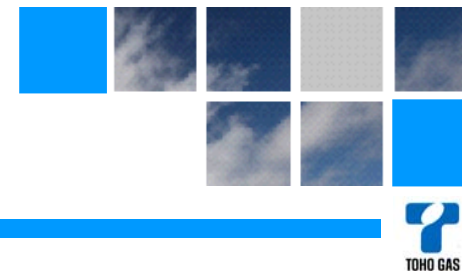
2. 2015年度の見通し

(1)まとめ



- ガス販売量は対前年1.7%増の4,005百万m³、LPG販売量は同3.4%増の444千トンを見込む
- 7月以降の原油価格 上期70ドル/バレル、下期80ドル/バレル、為替レート125円/ドルの前提で、売上高は対前年10.8%減の5,180億円、経常利益は同1.6%増の300億円を見込む
- 販売量、利益ともに、前回見通しを変更していない
- 第2四半期のみ利益を上方修正

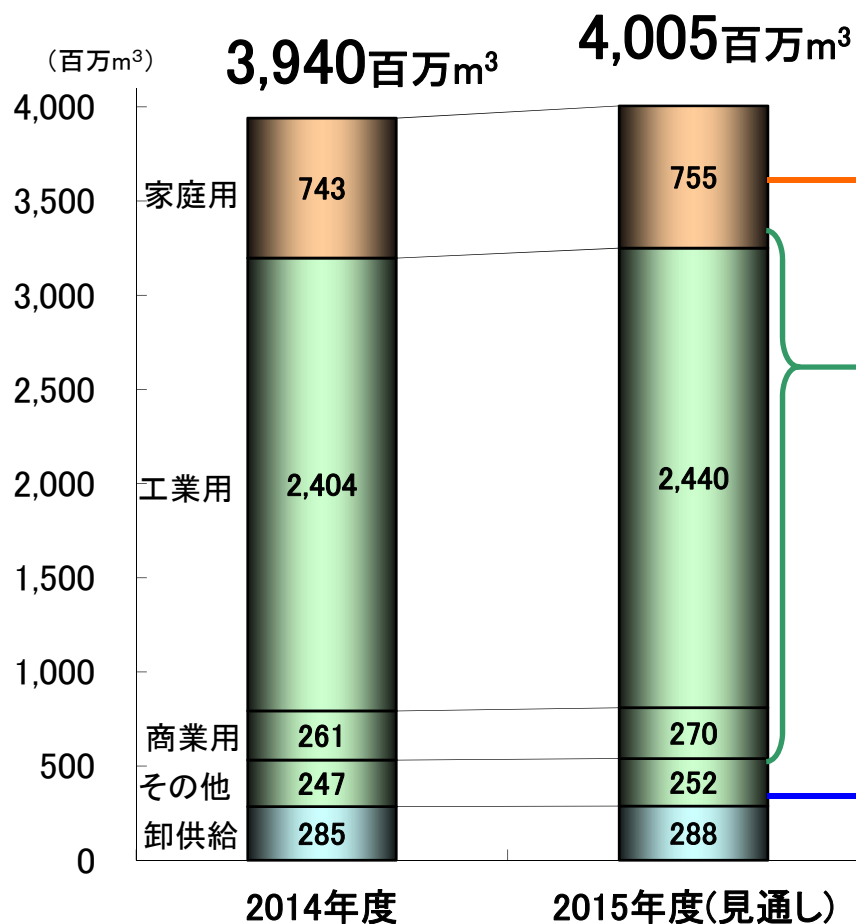
(2)お客さま数・販売量(見通し)



2,387千件 2,407千件 (+0.8%)

都市ガス

+65百万m³ (+1.7%)



家庭用 + 12百万m³ (+1.6%)

業務用 + 50百万m³ (+1.8%)
 燃焼分野を中心とした需要開発による増加

卸供給 + 3百万m³ (+0.9%)

LPG

お客さま数※ +1.0%: 456千件 → 461千件

※お客さま数には配送受託件数含む

販売量 +3.4%: 430千トン → 444千トン

平均気温	16.2℃	16.5℃	+0.3℃
------	-------	-------	-------

(3) 2015年度の見通し

単位: 億円



	2015年度 見通し	2014年度	増減	増減率
ガス販売量 (億m ³)	40.0	39.4	0.6	1.7%
売上高	5,180	5,809	△629	△10.8%
経常利益	300	295	4	1.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益※	210	190	19	10.2%
設備投資額	470	365	104	28.5%
減価償却費	340	339	0	0.1%

【前提】 ※ 2014年度は「当期純利益」 (単位: \$/bbl、円/\$)

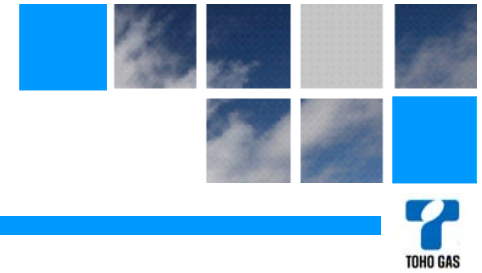
【感応度(年間)】

	2015年度	2014年度(実績)	増減
原油価格	72.4	90.4	△18.0
為替レート	124.1	109.8	+14.3

	原材料費	粗利益
原油価格 1\$/bbl	24億円	8億円
為替レート 1円/\$	16億円	6億円

※ 7月以降の原油価格 上期70ドル/バレル・下期80ドル/バレル、為替レート 125円/ドル

(4) 経常利益 増減要因(見通し)



経常利益(295億円⇒300億円) + 4億円

■ ガス販売量の影響 + 20億円

■ スライドタイムラグの影響 ± 0億円
(2014年度+40億円 ⇒ 2015年度+40億円)

■ その他 △ 16億円

<参考> 見通しの対前回比較

単位: 億円

	2Q累計 今回見通し	2Q累計 前回見通し (4/30時点)	増減	年間 今回見通し	年間 前回見通し (4/30時点)	増減
ガス販売量 (百万m ³)	1,839	1,839	—	4,005	4,005	—
売上高	2,430	2,430	—	5,180	5,250	△70
経常利益	320	270	50	300	300	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	230	195	35	210	210	—

(注) 今回見通しの前提: 今後の原油価格 上期70ドル/バレル・下期80ドル/バレル、為替レート 125円/ドル



<トピックス>ガス料金の改定および標準熱量の引下げ

■ ガス料金の改定

- 2015年9月1日から、小口部門の料金を現行に比べて平均1.57%の引下げ

■ 標準熱量の引下げ

- 2015年9月1日から、供給ガスの標準熱量を現行の46.04655MJ/m³から45MJ/m³への引下げ